

＜IoTデータを活用したバイオトイレ木質チップ自己管理システムの構築＞

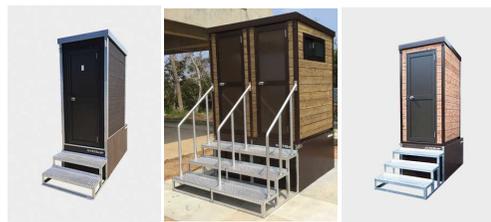
- ・下水道設備の無い観光地や建設現場などで活用され始めたバイオトイレは、処理槽内の木質チップ状態管理をしなければならないが、その管理は設置現場へ見に行かなければならず、手間がかかり、バイオトイレ設置の足かせになっていた。
- ・IoTを活用して木質チップ関連データを収集し、バイオトイレ自体で木質チップを管理できる制御システムを構築する。バイオトイレ設置後の管理を容易にし、より多くの場所にバイオトイレを設置することで観光地や建設現場において快適なトイレ環境の提供を目指す。

【構想図】

①バイオトイレにIoT機器を搭載。通信により稼働データをサーバーへ。



②遠隔監視で得た稼働データを取り出し、分析へ



IoT機器搭載バイオトイレ

③分析した稼働データを基に、木質チップの自己管理機能を搭載した新基盤を開発



新制御基盤

事業実施主体
(コンソーシアム構成員)

株式会社ミカサ（大分市）、有限会社FACT（大分市）、シンキングリード株式会社（東京都）